

(科目コード : 1100820061Y2)

【改訂】第19版(2016-03-15)

【科目】国語表現

【科目分類】一般科目 【選択・必修の別】必修 【学期・単位数】通年・2単位

【対象学科・専攻】2組 1年

【担当教員】前期:太田 たまき
後期:太田 たまき

【授業目標】

論理的な文章を客観的に理解することができる。
文学的な文章を多角的に鑑賞することができる。
自己の考えを論理的、客観的に表現するための基本的な能力を養うことができる。
現代日本語の運用、語句の意味、常用漢字等の基礎的知識について理解を深めることができる。

【教育方針・授業概要】

論理的文章を教材とする授業においては、語彙・文法的事項を丁寧に確認しつつ、文章の展開に即して論旨を正確に把握し、論説内容に検討を加える。併せて、文章表現力の錬成も兼ねて「論旨の要旨」をまとめる作業を行う。
文学的文章・韻文を教材とする授業においては、登場人物の心理を筋に即して読み取ること、あるいは凝縮された表現からイメージを膨らませること等を主眼とする。

【教科書・教材・参考書等】

教科書:精選 国語総合 現代文編:筑摩書房:9784480900456
参考書:新訂 総合国語便覧:第一学習社:9784804033013
参考書:常用漢字フォルダ:浜島書店

【授業形式・視聴覚・機器等の活用】

必要に応じて視聴覚教材を使用する。

【メッセージ】

1年生の国語表現は、読解を中心に行います。国語の基本は、まず他者の書いた文章を正確に理解することから始まり、そこから自分の意見を持ち、表現する力へと発展させていきます。ノートは縦書き使用を原則とし、授業には常に国語辞典を持参してください。授業の冒頭に毎回漢字テストを行いますので、予習の習慣を身につけましょう。

【事前に行う準備学習】

『新訂 総合国語便覧』(第一学習社)の「口語文法要覧」(pp.552-557)を読んでおいてください。

【成績評価方法】

[前期]中間試験:40%,期末試験:40%,漢字テスト:10%,提出物:10%
[後期]中間試験:40%,期末試験:40%,漢字テスト:10%,提出物:10%

【本校の学習・教育目標】

(E-1) 自己の考えを論理的、客観的に口頭及び文章で表現できる

【授業計画】(国語表現)

回数	授業の主題	内容	レポート	宿題
第1回	ガイダンス	国語表現の授業の概要を述べ、その意義と目的について説明する。		
第2回~第3回	口語文法と文学史の基礎	口語文法と文学史の基礎を身につける。	漢字テスト	
第3回~第7回	結ばれていく時間(評論1)	「時間」の姿から社会のあり方を探る。	漢字テスト	
第8回~第11回	愛されすぎた白鳥(小説1)	「寓話」という物語形式をとおり、自分なりの読み方を身につける。	漢字テスト	
第12回~第15回	羅生門(小説2)	描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み、場面の推移や人物の心理の変化を理解する。	漢字テスト	
第16回~第19回	トロンボーンを吹く女子学生(評論2)	先入観なしで物事を見ることの難しさと大切さを理解する。	漢字テスト	
第20回~第23回	デジタル社会(評論3)	筆者の主張する、現代の情報社会の問題点を読み取る。	漢字テスト	
第24回~第30回	二十億光年の孤独・死なない蛸・小景異情(詩歌)	3つの異なる表現方法で描かれた詩をとおり、詩の世界の魅力を読み取る。	漢字テスト	